保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年4月28日

(事業所名)

児童発達支援・放課後等デイサービスRaphael

保護者等数(児童数)34人(回収数)26人(割合)76.4%

	. 70 2	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はい	どちらとも いえない	いいえ	()34人(回収数)26人(割合)/	ご意見を踏まえた対応
				012.401		【どちらともいえない(ご意見1名)] ・部屋に子供が10人 集まると狭く感じます。公園に出掛けての 活動がある方が良いと思います。	【法令基準(指導訓練室)】 -4㎡/1人×10人=【40㎡】 東京都の平均(定員10名)】 -45㎡~50㎡前後 【Raphael(指導訓練室)】 ※洗面台や固定設置物等を除く有効面接 【79.7㎡】
環境・	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	24	2	0		[相談室]6.3㎡[事務室]5㎡[洗面所]4箇所[便所]2箇所[流し台]1箇所 【ご意見を踏まえた対応】 ・都内にある他施設と比較して十分な面積を確保しており、屋外活動(公園等での運動活動)につきましては、学習時間終了後またはプログラム終了後のフリータイムにおいて、お子様のご要望(人数)に応じて、頻繁に屋外活動を実施しております。
体制整備	2	職員の配置数や専門性は適切である	22	4	0	【どちらともいえない(ご意見2名)】 ・実際の様子をみてないので何とも言えませんが安心はしています。 ・保護者に情報が伝わっていない。	1. 弊社では、健全な運営を図る為、外部監査者として、専門家「行政書士事務所(行政書士)と顧問契約を締結しております。 2. 職員の採用や配置につきましては、行政書士のリーガルチェック後、常時法令基準の配置人員数以上を配置しております。 3. 児童受入数(10人/日)を遵守しております。(ご利用者様専用マイページにてご多が状況のご確認が可能でございます。)
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	17	9	0	【どちらともいえない(ご意見4名)】 ・細かく見ていないのでよく分からない ・実際の様子をみてないので何とも言えませんが安心はしています。 ・すみません、把握していません。 ・覚えていない	弊所は東京都の許認可施設でございます。その為、東京都の現地調査を実施済でございます。今後、施設内等の間取り変更や改装を行う場合は、ご利用者様に周知すると共に東京都に届出致します。
適切	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	26	0	0	【はい(ご意見1名)】 ・子供のその時の困りごとに応じて対応していただきました。	引き続き、お子様(保護者様)にとって最善の個別支援計画(アセスメント、モニタリング)等を実施致します。
な支援	(5)	活動プログラム が固定化しないよう工夫されている	25	1	0	【ご意見0名】	引き続き、根拠のあるプログラム活動 (テーマ、目的、意図)を実施すると共に、 常にイノベーションを意識した活動を実施 します。
の提供	(6)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子ども と活動する機会がある	9	16	1	【どちらともいえない(ご意見4名)】 ・分からないため「どちらともいえない」にしました。 ・コロナ過で自粛されているのではないでしょうか ・わからない(2名)	引き続き、イベント活動(課外活動)等、適 宜必要に応じて交流の機会を設けていき ます。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明が なされたか	26	0	0	【はい(ご意見1名)】 ・面談やその都度電話にて説明を受けました。	引き続き、コンプライアンス等を遵守してい きます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	24	2	0	【はい(ご意見2名)】 ・いつもサービス提供記録を楽しみにしています。 ・HUGを使って日々のやりとりができました。 【どちらともいえない(ご意見1名)】 ・全てのスタッフに共通認識があるか疑問	・引き続き、サービス提供記録やご利用者様専用マイページ(連絡ツール)等を活用して保護者様との連携を図っていきます。 ・弊所では、全スタッフが共通認識をもてる環境づくりとして、アナログ管理を削減し、デジタル管理システム(情報等の一元管理)を導入しております。又、施設内に6台(タブレット3台、スマホ3台)を完備している為、全スタッフが最新の状況をリアルタイムで常時閲覧可能な状態でございます。その為、全員が共通認識をもって支援に努めております。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支 援が行われている	25	0	1	【いいえ(ご意見1名)】 ・面談などあるのでしょうか?よくわかっていなくてすみません。 【はい(ご意見1名)】 ・困った時に時間を作っていただき面談をしていただきました。	引き続き、適時ご対応をさせていただきた く存じております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等に より保護者同士の連携が支援されている	1	14	11	【どちらともいえない(ご意見4名】 ・分かりません(3名) ・個人的には保護者会はあると良いと思いますが、色々考え方もあるので何とも言えません。 【いいえ(ご意見2名)】 ・なくて問題なし ・発達障碍児の子育ては困り事が多く孤独になりがちなので親の会があって交流の場があればいいなと思います。	いただきたく存じております。
説明等	11)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、 苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	21	5	0	【どちらともいえない(ご意見1名】 ・分からない	引き続き、全職員が状況を把握できる環境 を維持すると共に、迅速なご対応をさせて いただきたく存じております。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための 配慮がなされている	25	1	0	【ご意見0名】	引き続き、ご利用者様専用マイページ等を 活用して最新の情報等を伝達できるように 務めていきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価 の結果を子どもや保護者に対して発信している	26	0	0		引き続き、ホームページやご利用者様専 用マイページでの公表だけでなく、皆様に リアルタイムで周知させていただく為、継続 して、ご利用者様毎にご案内通知を発信 致します。(送受信の既読や未読設定のシ ステム導入をしております)
	14)	個人情報に十分注意している	26	0	0	【ご意見0名】	個人情報に留まらず、性的虐待防止、個人携帯電話のカメラ機能で、わいせつ画像を撮影するといった性犯罪事例があったことを鑑みて、業務中の個人携帯電話の携帯は禁止としております。又、従業員とお子様は、支援の提供を介した専門的な職務上の関係であることを自覚すると共に、関係性や距離の取り方などは、当然それらを踏まえた対応とするものであることから、個人的なメールや、SNSのやりとりは、不適切・不必要なつながりのツールとなり、性的虐待につながる可能性がある為、従業電話でのやりとり、特にSNSは禁止としております。
非常時等	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、保護者に周知・説明 されている	25	1	0		専門家(行政書士)監修の下、社内研修を 実施しております。又、ご利用者様専用マイページでの公表だけでなく、ご利用者様 毎にご案内通知をさせていただきました。 (送受信通知システムにてご利用者様全 員の既読をご確認させていただきました) 弊社の各指針につきましては、行政書士 によるリーガルチェック後、ご利用者様専 用マイページの活動記録にて公表しております。
の対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われている	16	10	0	【どちらともいえない(ご意見1名)】 ・すみません。把握できていません。	専門家(行政書士)監修の下、社内研修の 実施に留まらず、お子様に楽しく訓練等に ご参加をいただく為、イベント活動の一、 しして定期的に実施しております。又、ご利 用者検専用マイページにて当日の実施項 目等の詳細をご利用者様毎にご案内通知 をさせていただきました。(送受信通知シス テムにてご利用者様全員の既読をご確認 させせていただきました)
	1	子どもは通所を楽しみにしている	22	3	1	しています。 【いいえ(ご意見1名)】	能)」を最大限に引き出す支援をさせていただきたく存じております。又、共生社会の実現に向けた後方支援「将来の自立と社会参加を目指す」為、継続してグローバルなイベント活動、職業体験等)を実施して、お子様の将来の可能性を広げていきます。そして、「Raphaelでしか取り組めない活動をご提供すること」を念頭に取り組ませて

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	(B)	事業所の支援に満足している	25	1	0		基にサポートをさせていただきます。 【Raphaelの理念】 《子供の最善の利益を保障する》 1.「安全・安心」できる「時間・空間」を提供

※本アンケート調査結果につきましては、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」にて事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。(ご意見につきましても全件記載しております)

事業所における自己評価結果(公表)

<u>公表:令和5年3月31日</u> 事業所名:児童発達支援・放課後等デイサービスRaphael

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた
			VIVIX	改善内容又は改善目標
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	レ		児童受入数(10人/日)を遵守している
2	職員の配置数は適切であるか	レ		法令基準の人員数を常時配置している
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	レ		施設内はバリアフリーにしている
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 しているか	レ		毎日、ミーティングを実施している
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげているか	レ		本アンケート調査実施後、「保護者等向け評価表」の結果を基に、全スタッフ参加のミーティングを行い、集計結果を公表している
6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	レ		HP及びご利用者専用マイページにて公表しております。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	レ		専門家(弊社、顧問行政書士)監修の下、外部評価や外 部研修を実施している
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保しているか	レ		専門家(弊社、顧問行政書士)監修の下、必要に応じて 定期的に実施している
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成しているか	レ		親御様と面談(アセスメント)を行い、 個別支援計画を作成している
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	レ		システム管理(一元管理)をしていることで、 スタッフが常時閲覧可能な状態となっている
11)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	レ		常勤、非常勤に関わらず、全スタッフ参加型の プログラムコンペを実施している
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	レ		「右脳領域、左脳領域、前頭葉領域、SST」のプログラム以外でも共生社会への参加プログラム等、多岐にわたるプログラムを 実施している
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を きめ細やかに設定して支援しているか	レ		毎回、「テーマ&目的(意図)」を設定して 療育支援を実施している
14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス 計画を作成しているか	レ		お子様1人ひとりの特性に合わせた個別プログラムや集団プログラムを実施している
15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認しているか	レ		毎日「スタッフミーティング」を行い、プログラム の打ち合わせを行っている。又、スタッフ全員が常時閲 覧可能な状況で支援内容等の確認ができる状態となっ ている(デジタル管理の為)
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有しているか	レ		弊社ではデジタル管理(情報の一元化)をしている為、当日の サービス提供記録簿を介して支援状況の共有を行い、状況に 応じて全スタッフが常時確認可能な業務日報や児童情報に記 録保存している
		事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか の自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか 活動プログラムの立案をチームで行っているか活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか アロスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか できめ細やかに設定して支援しているか 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、	事業所の設備等について、パリアフリー化の配慮が適切になされているか	# 第

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげているか	レ		サービス提供記録簿(職員共有欄)の他、業務 日報、児童毎の記録簿等にて検証・改善に繋げている (一元管理システムで常時確認可能)	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いるか	レ		モニタリングだけでなく、認知アセスメント(デジタル認知テスト)の結果も支援計画の判断としている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っているか	レ		認知テスト、右脳、左脳、前頭葉の領域から12項目、 SST、自立学習支援、運動活動、共生社会の参加、職業体験、 地域コミュニティー等の多岐にわたる療育活動を実施している	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画しているか	レ		無資格者のスタッフは不在でございます	
	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	どちら	でもない	[学校との情報共有]直接共有はないものの、親御様から間接的に下校時間等の情報共有を行っている [連絡調整]適時、報告及び連絡を行っている	
関係機関	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			該当なし	
や保護者と	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めているか	どちら ⁻	でもない	今後は必要に応じて対応する 入会時「就学前相談書類、診断書、認知測定結果、診 断結果」等の資料を拝受しております	
の連携関係機	24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		該当なし		
関や保護	25)	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けているか	<i>ట్</i> 56ే	でもない	入会時「就学前相談書類、診断書、認知測定結果、診 断結果」等の資料を拝受しておりますが、今後は必要に 応じて連携を行う	
者との連	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会があるか	レ		毎月、地域コミュニティー等に参加している	
携	27)	(地域自立支援)協議会等へ積極的に 参加しているか		レ	現在は電話対応の為、今後は現地訪問等を 行ない、グローバルな支援活動に繋げる	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っているか	レ		サービス提供記録簿以外では、ご利用者様専 用マイページ(メール)等を使用して状況等の共有を図っ ている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っているか		レ	今後の課題として取り組みます	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っているか	レ		入会前に親御様参加型の体験会を行い、契約の事前説明を 行っている。又、利用者負担等については、契約書に明記する だけでなく、口頭説明を行い、署名・押印をいただいている	
	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	レ		適時、個別対応を行っている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保	32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 しているか		۷	保護者様(全体)の意向を伺った上で、今後の 支援活動として導入するか検討する
護者への説	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	レ		適時、個別対応を行っている
明責任等	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	۷		ご利用者様専用マイページをご提供している為、リアルタイム(常時閲覧可能な状態)で周知している
	35)	個人情報に十分注意しているか	۷		ID・PW等の設定を行い、個人情報については、 施設外に持ち出しを禁止している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	レ		適時、社内研修を実施している
	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っているか		レ	招待型ではなく、地域住民の方が参加型の行事に参加 している
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知しているか	レ		研修項目等の詳細内容をHPやご利用者専用 のマイページにて周知するとともに、各指針を 公表している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っているか	レ		研修項目等の詳細内容をHPやご利用者専用 のマイページにて周知するとともに、各指針を 公表している
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしているか	۷		研修項目等の詳細内容をHPやご利用者専用のマイページにて周知するとともに、各指針を公表している
等の対応	41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	レ		重要事項説明書に明記するだけでなく、入会(契約時) に口頭説明を行うとともに、同書に署名、押印をいただいております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされているか	V		スタッフ全員が常時閲覧可能な児童情報に記録保存を 行い周知している(デジタルー元管理システムを導入し ている)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有しているか		レ	発生した場合、業務日報等において周知しているもの の、事例集は作成していない為、今後は事例集として記 録保存を行う

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

<u>公表: 令和5年4月28日</u> (事業所名) <u>児童発達支援・放課後等デイサービスRaphael 保護者等数(児童数)6人(回収数)6人(割合)100%</u>

<u>汇里</u>	光	菫支援▪放課後等デイサービスRaphael	休證	<u> 白寺</u>	八九里	致 / り /	人(凹収敛/6.	<u>人 (</u>
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保され ているか	5	0	0	1	【ご意見0名】	【児童発達支援法令基準(指導訓練室)】 ・3㎡/1人×10人=【30㎡】 【東京都の平均(定員10名)】 ・35㎡~40㎡前後 【Raphael(指導訓練室)】 ※洗面台や固定設置物等を除く有効面接 【79.7㎡】 [相談室]6.3㎡[事務室]5㎡[洗面所]4箇所[便所]2箇所[流し台]1箇所 ※都内にある他施設と比較して十分な面積を確保しております。
環境・体制整備	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0	2	【ご意見O名】	1. 弊社では、健全な運営を図る為、外部監査者として、専門家「行政書士事務所(行政士)」と顧問契約を締結しております。 2. 職員の採用や配置につきましては、行政書士のリーガルチェック後、常時法令基準の配置人員数以上を配置しております。又、無資格の職員は不在でございます。 3. 児童受入数(10人/日)を遵守しております。(ご利用者様専用マイページにてご予約状況のご確認が可能でございます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	0	1	【ご意見O名】	弊所は東京都の許認可施設でございます。 その為、東京都の現地調査を実施済でございます。今後、施設内等の間取り変更や改装を行う場合は、ご利用者様に周知すると共に東京都に届出致します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 となっているか。また、子ども達の活動に合わ せた空間となっているか	5	0	0	1	【ご意見0名】	引き続き、当日中に除菌シート等を用いて清掃を行い、清潔で心地よく過ごせる環境をご提供すると共に各プログラム(学習、療育プログラム、フリータイム)に応じた空間を保ちます。
	(5)	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6	0	0	0	【ご意見0名】	引き続き、児童発達支援管理責任者が親御様と面談(アセスメント)等を行い、認知テスト結果等を基に科学的根拠のある支援計画を作成致します。
適切な支援	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0		【ご意見O名】	引き続き、科学的根拠のある認知アセスメント(デジタル認知テスト)の項目「右脳領域、 左脳領域、前頭葉領域、SST(全13項目)」 のプログラムを実施すると共に、プログラム 内容についても、認知テスト結果を考慮し、お 子様1人ひとりの特性に合わせた支援を行い ます。又、プログラム以外においても学習時間や屋外活動(運動)等を実施致します。
の 提	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われて いるか	5	0	0	1	【ご意見0名】	引き続き、支援計画に基づいた支援を継続すると共に、お子様の成長や認知テスト等の 結果を基に支援計画等の見直しを行います。
供	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	0	0	1	【ご意見O名】	引き続き、根拠のあるプログラム活動(テーマ、目的、意図)を実施すると共に、常にイノベーションを意識した活動を実施します。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障害のない子供と活動する機会があるか	1	0	1	4	【ご意見0名】	今後は保護者様等のニーズや必要に応じて 交流の機会を設けていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な 説明がなされたか	6	0	0	0	【ご意見0名】	引き続き、適宜ご説明を行うと共にコンプライアンス等を遵守致します。
護者への説明		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6	0	0	0	【ご意見0名】	引き続き、法令規定に基づき児童発達支援 管理責任者が保護者様とご面談(アセスメント)を行います。その結果を基に支援者会議 を行い、児童発達支援管理責任者が個別支 援計画書を作成します。その後、同書を保護 者様にご提示すると共に支援内容について 口頭にて説明し、保護者様にご理解をいただいた上でご署名をいただき相互理解を深め ます。
等	12)	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2	0	1	3	【ご意見O名】	今後は保護者様のニーズやお子様の状況等 に合わせて適宜ご対応をさせていただきたく 存じております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解ができているか	5	0	0	1	【ご意見0名】	引き続き、ご利用者様専用マイページ等を活用して最新の情報等を伝達できるように務めていきます。
	14)	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	5	0	0	1	【ご意見O名】	引き続き、ご面談以外でもご利用者様マイページの連絡ツール等を使用して適宜ご対応をさせていただきたく存じております。
	(15)	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	1	0	1	4	【ご意見0名】	父母の会等につきましては、弊所と保護者様だけでなく、保護者様同士が関わるものと存じております為、今回の結果を踏まえて、状況に応じて適時開催等を検討させていただきたく存じております。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	0	0	1	【ご意見0名】	引き続き、全職員が状況を把握できる環境を維持すると共に、迅速かつ丁寧なご対応をさせていただきたく存じております。
	17)	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	5	0	0	1	【ご意見0名】	引き続き、ご利用者様専用マイページ等を活 用して最新の情報等を伝達できるように務め ていきます。
	(38)	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されているか	6	0	0	0	【ご意見0名】	引き続き、ホームページやご利用者様専用マイページでの公表だけでなく、皆様にリアルタイムで周知させていただく為、継続して、ご利用者様毎にご案内通知を発信致します。(送受信の既読や未読設定のシステム導入をしております)
	(E)	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6	0	0	0	【ご意見0名】	個人情報に留まらず、性的虐待防止、個人携帯電話のカメラ機能で、わいせつ画像を撮影するといった性犯罪事例があったことを鑑みて、業務中の個人携帯電話の携帯は禁止としております。又、従業員とお子様は、支援の提供を介した専門的な職務上の関係であることを自覚すると共に、とりないるとするものであることから、個人的なメールや、SNSのやりとりは、不適切・不必要なつながりのツールとなり、性的虐待につながる可能性がある為、従業員とご利用者様(お子様)との個人携帯電話でのやりとり、特にSNSは禁止としております。
非常時等	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	0	0	2	【ご意見0名】	専門家(行政書士)監修の下、社内研修を実施しております。又、ご利用者様専用マイページでの公表だけでなく、ご利用者様毎にご案内通知をさせていただきました。(送受信通知システムにてご利用者様全員の既読をご確認させていただきました)弊社の各指針につきましては、行政書士によるリーガルチェック後、ご利用者様専用マイページの活動記録にて公表しております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の対応	21)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	0	3	【ご意見0名】	専門家(行政書士)監修の下、社内研修の実施に留まらず、お子様に楽しく訓練等にご参加をいただく為、イベント活動の一環として定期的に実施しております。又、ご利用者様専用マイページにて当日の実施項目等の詳細をご利用者様毎にご案内通知をさせていただきました。(送受信通知システムにてご利用者様全員の既読をご確認済でございます)
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1	0	0	い(ご意見1名)】 ・母子分離に対す る不安が大きく自 分1人で通所する となると本人に とって安心できる	引き続き、お子様のお気持ちに寄り添い、お子様の意思を尊重しつつ、「独自性(才能)」を最大限に引き出す支援をさせていただきたく存じております。又、共生社会の実現に向けた後方支援「将来の自立と社会参加を目指す」為、継続してグローバルなイベント活動(職業体験等)を実施して、お子様の将来の可能性を広げていきます。そして、「Raphaelでしか取り組めない活動をご提供すること」を念頭に取り組ませていただきたく存じております。
満足度	2	事業所の支援に満足しているか	5	1	0	0	【ご意見0名】	現状維持に留まらず、常に向上心をもち、ご利用者様にとって最善の支援を目指してご対応をさせいただきたく存じております。最善の支援を実現させる為、下記理念を基にサポートをさせていただきます。【Raphaelの理念】《子供の最善の利益を保障する》1、「安全・安心」できる「時間・空間」を提供する。と、本人の意思を尊重し、「独自性(才能)」を最大限に引き出する。共生社会の実現に向けた後方支援「将来の自立と社会参加を目指す」《保護者支援を保障する》1、療育についての悩み等に対する相談「個別支援計者が「子供に向き合うゆとり」を提供する「学校、病院等と密に連携を図り保護者の時間を確保」3、保護者との「信頼関係」を構築する「保護者の気持ちに寄り添っ」と「機者との「信頼関係」を構築する「保護者の気持ちに寄り添ってできる職場環境を保険る》1、「明るく・楽しく・元気よく」できる職場環境を提供する「、と、いつも「感謝」の気持ちを持ち続けます。2、いつも「感謝」の気持ちを防止します「常にイノペーションを意識」ます」

※本アンケート調査結果につきましては、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」にて事業所の評価を 行っていただき、その結果を集計したものです。(ご意見につきましても全件記載しております)

事業所における自己評価結果(公表)

<u>公表:令和5年3月31日 事業所名:児童発達支援・放課後等デイサービスRaphael</u>

	<u>``</u>	<u> </u>	はい	いいえ	<u>に又接・水味を等ナイザーに人Raphael</u> 工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	レ		児童受入数(10人/日)を遵守している
環 境	2	職員の配置数は適切であるか	レ		法令基準の人員数を常時配置している
・体制整備	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっているか。また、障害の特性に応じ、 事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達 等への配慮が適切になされているか	レ		施設内はバリアフリーにしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっているか。また、子ども達の活動に合わせた 空間となっているか	レ		毎日、当日中に施設内清掃(除菌シート等を用いて) を行うだけでなく、空気清浄機の設置、室内換気を行っ ている
	(5)	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	レ		毎日、ミーティング(テーマ&目的設定)を実施している
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対し て事業所の評価を実施するとともに、保護者等 の意向等を把握し、業務改善につなげているか	レ		本アンケート調査実施後、「保護者等向け評価表」の 結果を基に、全スタッフ参加のミーティングを行い、集計 結果を公表している
業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	V		[事業所向け自己評価] 全スタッフ(常勤、非常勤を含む)、自己評価表の項目 について周知及び確認(今後の取り組み)を行った [自己評価の公表] ホームページ、ご利用者様専用マイページにて公表し ている
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	レ		専門家(弊社、顧問行政書士)監修の下、外部評価 や外部研修を実施している
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	レ		専門家(弊社、顧問行政書士)監修の下、必要に応じて 定期的に実施している
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童 発達支援計画を作成しているか	レ		アセスメントだけでなく、認知アセスメント(デジタル認知 テスト)の測定結果も分析の判断としている
適切	11)	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	レ		システム管理(一元管理)をしていることで、 スタッフが常時閲覧可能な状態となっている
のな支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	V		認知アセスメント(デジタル認知テスト)の項目「右脳領域、左脳領域、前頭葉領域、SST」を基に各分野(13項目)のプログラムを実施しているプログラム内容についても、認知テスト結果を基に児童1人ひとりの特性に合わせた療育支援を行っているプログラム以外でも学習時間や屋外活動(運動)等を実施している

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標		
	(13)	児童発達支援計画に沿った支援が行われて いるか	レ		計画書を基に療育支援を実施すると共に、状況に応じて適時行うことで次回の支援計画に繋げている		
	14)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	レ		常勤、非常勤に関わらず、全スタッフ参加型の プログラムコンペを実施している		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	ン		「右脳領域、左脳領域、前頭葉領域、SST」のプログラム以外でも共生社会への参加プログラム等、多岐にわたるプログラム を実施している		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成 しているか	レ		お子様1人ひとりの特性に合わせた個別プログラムや 集団プログラムを実施している		
	17)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担について 確認しているか	レ		毎日「スタッフミーティング」を行い、プログラム の打ち合わせを行っている。又、スタッフ全員が常時閲 覧可能な状況で支援内容等の確認ができる状態となっ ている(デジタル管理の為)		
	18)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有しているか	レ		弊社ではデジタル管理(情報の一元化)をしている為、当日のサービス提供記録簿を介して毎日支援状況の共有を行い、状況に応じて全スタッフが常時確認可能な業務日報や児童情報に記録保存している		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげているか	レ		サービス提供記録簿(職員共有欄)の他、業務日報、児童毎の記録簿等にて検証・改善に繋げている(スタッフ全員が常時閲覧可能な一元管理システムを導入していることで周知徹底が可能)		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援 計画の見直しの必要性を判断しているか	ン		モニタリングだけでなく、認知アセスメント(デジタル認知テスト)の結果も支援計画の判断としている		
	21)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が 参画しているか	レ		無資格者のスタッフは不在でございます		
関	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っているか		レ	入会時「就学前相談書類、診断書、認知測定結果、診 断結果」等の資料を拝受しておりますが、今後は必要に 応じて連携を行う		
係機関や保護者	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	対象外				
者との連携関!	24)	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制 を整えているか	対象外				
係機関や保護	25)	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		レ	入会時「就学前相談書類、診断書、認知測定結果、診 断結果」等の資料を拝受しておりますが、今後は必要に 応じて連携を行う		
者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校 (小学部)との間で、支援内容等の情報共有 と相互理解を図っているか		V	入会時「就学前相談書類、診断書、認知測定結果、診 断結果」等の資料を拝受しておりますが、今後は必要に 応じて連携を行う		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
饬	27)	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	どちらて	でもない	入会時「就学前相談書類、診断書、認知測定結果、診 断結果」等の資料を拝受しておりますが、今後は必要に 応じて連携を行う
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会があるか	レ		毎月、地域コミュニティー等に参加している
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の 子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	どちらて	でもない	現在は電話対応の為、今後は現地訪問等を行ない、グローバルな支援活動に繋げる
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っているか	V		サービス提供記録簿以外では、ご利用者様専用マイページ(メール)等を使用して状況の共有を図っている
	31)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)の支援を行っているか		レ	今後の課題として取り組みます
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか	ν		入会前に親御様参加型の体験会を行い、契約の事前説明を 行っている。又、利用者負担等については、契約書に明記する だけでなく、口頭説明を行い、署名・押印をいただいている
		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、 これに基づき作成された「児童発達支援計画」 を示しながら支援内容の説明を行い、保護者 から児童発達支援計画の同意を得ているか	V		入会時、児童発達支援管理責任者が面談を行い、同職がアセスメント結果を基に児童一人ひとりの特性を考慮して個別支援計画書の作成後、後日、契約締結時に保護者と面談を行い支援内容の説明を実施すると共に同書に署名、押印をいただいています。
保		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に 対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っているか	レ		適時、個別対応を行っている
護者への		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 しているか		レ	保護者様(全体)の意向を伺った上で、今後の支援活動 として導入するか検討する
説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ 適切に対応しているか	レ		相談内容に応じて即時対応(親御様への連絡)又は、 ご送迎時、サービス提供記録簿、ご利用者様専用マイ ページのメール等を通じて当日中に親御様と情報共有 を図っている。(メール内容等は、スタッフ全員が常時閲 覧可能な一元管理システムを導入している)
3	37)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信しているか	レ		ご利用者様専用マイページをご提供している為、リアルタイム(常時閲覧可能な状態)で周知している(周知時、通知メールの設定も行っています)
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	レ		ID・PW等の設定を行い、個人情報については、 施設外に持ち出しを禁止している
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	レ		児童発達支援(未就学児)については、マンツーマンでの支援活動を行っている(幼児1名に対して1名のスタッフの配置)
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っているか	レ		招待方式の活動ではなく開催地に地域住民が参加型 の地域コミュニティーに参加している

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施 しているか	ン		研修項目等の詳細内容をHPやご利用者専用のマイページにて周知するとともに、各指針を公表している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っているか	ン		研修項目等の詳細内容をHPやご利用者専用のマイページにて周知するとともに、各指針を公表している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認しているか	ン		入会前に親御様と面談(アセスメント)を行い、スタッフ が常時閲覧できる児童情報にて周知している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされているか	۷		スタッフ全員が常時閲覧可能な児童情報に記録保存を 行い周知している(デジタルー元管理システムを導入し ている)
	45)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 しているか	۷		発生した場合、業務日報等において周知しているもの の、事例集は作成していない為、今後は事例集として 記録保存を行う
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしているか	ン		研修項目等の詳細内容をHPやご利用者専用のマイページにて周知するとともに、各指針を公表している
	47)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかに ついて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前 に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援 計画に記載しているか	レ		重要事項説明書に明記するだけでなく、入会時(契約時)に口頭説明を行うとともに、同書に署名、押印をいただいております。

^{※(}児童発達支援)「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。